

## 新たな西東京市教育計画の方向性の抽出について

### ～ ブレインストーミングの実施(後半) ～

#### 1 目的

これまで実施してきた市民アンケート調査、ヒアリング等を通じて、様々な西東京市の教育に対する実態や、ニーズ等を把握し、また、前回の懇談会において、新たな西東京市教育計画の方向性の抽出のために、「良いところ・残したいところ」「改善したいところ」「新たに取り入れたいところ」についてブレインストーミング（意見交換）を実施しました。

今回は、前回の懇談会で出された意見をさらに掘り下げ、次期西東京市教育計画に取り入れたい方向・施策・取組について重点的にブレインストーミング（意見交換）を実施します。

#### 2 実施手法

4人程度で意見を交わすため、3グループに分かれて実施  
付箋を使って模造紙に貼りながら、キーワードを整理

#### 3 プログラム

- 10：30～10：35 全体での趣旨説明
- 10：35～10：40 席移動、進行係・発表者の設定
- 10：40～10：45 各人で意見やアイデアを付箋に記入
- 10：45～11：05 グループでの意見交換
- 11：05～11：10 意見の整理
- 11：10～11：25 各グループ発表

#### 4 留意事項

送付している縮小版模造紙には、前回会議の意見をもとに、西東京市の教育について、①学校教育について、②家庭教育支援について、学校・家庭・地域の連携について、③生涯学習について、として大きく3区分としています。資料5「次期西東京市教育計画（平成31～35年度）の体系・骨子案」に基づき、キーワードのもれがないか確認していただきながら、「次期計画の方向」についてご意見いただきますようよろしくお願いいたします。

西東京市教育計画策定のための方向性整理シート（視点・キーワードの整理）

	西東京市の教育について	A	B	C
		良いところ・残したいところ	改善したいところ	新たに取り入れたいところ
1	<p>学校教育について</p> <p>《現計画の該当基本方針》</p> <p>1. 「生きる力」の育成に向けて</p> <p>2. 「生きる力」を育むための学校教育環境の充実に向けて</p> <p>3. 一人ひとりを大切にす る教育の推進に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校入学時の支援の充実</li> <li>・子どもたち一人一人の個性の尊重</li> <li>・放課後や長期休業中の児童・生徒に対する教育指導の充実</li> <li>・個々人のペースに合わせた支援教育をするという考え方</li> <li>・教育支援、教育相談</li> <li>・体験型学習（地域資源の活用、教育課程内での位置づけ）</li> <li>・いじめの相談窓口開設後の取組</li> <li>・知識だけでなく気付きを与える</li> <li>・キャリア教育⇒夢を持つ事</li> <li>・給食、食育</li> <li>・掃除の文化</li> <li>・いじめ・暴力行為の防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的学び（特に中学）</li> <li>・子どもたちの自己表現力を伸ばす学校教育</li> <li>・中学校部活指導から担任をはずす</li> <li>・西東京市の文化財、史跡を教育に生かす</li> <li>・保護者会の充実を。質を高める（保護者同士と先生の連携を）</li> <li>・一人ひとりを大切にする教育の推進</li> <li>・通常の学級での個に応じた支援の充実</li> <li>・A D H D ・自閉症だけではなく、知的障害、身体障害のある子ども共に学びあえる体制づくり＝分けない教育</li> <li>・人権に関する教育（生命尊重）</li> <li>・学校の役割の明確化と資質の向上</li> <li>・読書活動</li> <li>・学校で先生に質問できる時間を作る</li> <li>・先生の保護者対応へのフォロー</li> <li>・特別支援の相談の充実</li> <li>・中学校部活動における外部指導員の増員</li> <li>・スクールカウンセラー利用の仕方</li> <li>・スクールカウンセラーの常駐または日数を増加</li> <li>・担任以外も生徒を見守る体制</li> <li>・I C T 活用の為の整備</li> <li>・学校施設の改修整備</li> <li>・切れ目のない支援</li> <li>・習った漢字はなるべく漢字で</li> <li>・コンピューターを取り入れる授業（パソコンの使い方含む）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校低学年の正副担任制</li> <li>・小学校の少人数化</li> <li>・キャリア教育の拡充（キャリア教育で大人になることのイメージを持つ）</li> <li>・自己理解向上</li> <li>・目的意識（なぜ学ぶのか、なんのために生きるのか）自分の望む将来像の想像⇒自ら学び考え行動する</li> <li>・意欲づくり⇒自尊感情や自己肯定感の向上</li> <li>・生き方教育</li> <li>・自分はどうのように生きていくかを考える教育</li> <li>・I T 教育の基盤整備（2023年レベル）</li> <li>・先生の世界（疲れすぎないでいられる余裕を）</li> </ul>
2	<p>家庭教育支援について</p> <p>学校・家庭・地域の連携について</p> <p>《現計画の該当基本方針》</p> <p>4. 社会全体での教育力の向上に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館事業の充実</li> <li>・おやじの会</li> <li>・お互いさまの子供の育成</li> <li>・宿題・家庭学習を支える環境</li> <li>・スポーツ（遊び場）施設の充実</li> <li>・読み聞かせ活動など</li> <li>・保護者参加の充実</li> <li>・放課後の居場所づくり</li> <li>・地域と学校の連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の力を教育に生かす</li> <li>・学校を支える地域の力を活用</li> <li>・「妊娠から成人するまで」の子育ち、子育ての切れ目のない支援の構築</li> <li>・子ども支援のあり方</li> <li>・誰でも安心して子どもを育てられるようにするために</li> <li>・幼・保・小・中の同一歩調</li> <li>・社会の中の学校（社会の中の①つ）</li> <li>・乳幼児検診から学校教育への連続（5才児）</li> <li>・親子関係を阻害するメディア（ケータイ・ゲーム・・・）を考える機会を常に設ける</li> <li>・中高生の地域社会での活躍（期待を高く、防災）</li> <li>・放課後の居場所充実</li> <li>・働く母親が増えていることによる対応し くみ、改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題のある家庭の保護者に伴走型の支援を（ホームスタートの小・中版）</li> <li>・未就学から大人まで何らかの困難を持つ家庭の一貫支援、ケアマネ的な相談体制</li> <li>・子どもを守る（我が子）とは、どうすることが深く考える機会をつくる</li> <li>・my childからour childrenへ</li> <li>・親に育つ機会を！（想像力が働くようになるために・・・）</li> <li>・福祉、家庭支援、女性支援などの行政サービスの拡充（学校からの展開）</li> <li>・親・子ともに自己肯定感を上げるためにどうするか</li> <li>・地域の大人の役割を考える機会をつくる</li> <li>・0才からの親への働きかけ（話し合い、自ら気づく方法）</li> <li>・幼保小の連携</li> <li>・子育てを孤独にしない仕組み</li> <li>・“乳幼児の教育”という視点</li> <li>・不登校の子の居場所</li> <li>・携帯電話の使い方</li> </ul>
3	<p>生涯学習について</p> <p>《現計画の該当基本方針》</p> <p>5. いつでも・どこでも・だれでも学べる社会の実現に向けて</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の生活時間の割り振り</li> <li>・“西東京の文化”としての文化財活用</li> <li>・公民館の活用推進（小中高生）</li> <li>・生涯学習の浸透</li> <li>・生涯学習に関する講座等の情報の周知</li> <li>・西東京の文化・歴史への興味</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中・高生が参加しやすい講座を！（日程も含め）</li> <li>・活動の場を増やす（空き家等の活用で）</li> <li>・公民館機能の充実</li> <li>・誰もが学べる（障害のある人、多様な年代）講座の充実</li> <li>・生涯学習におけるI T 活用</li> <li>・家庭教育向上の具体的施策</li> <li>・家庭からはじまる教育</li> </ul>